

当社が出資するバイオマス発電所が商業運転を開始

木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料の完全 NON-FIT 型発電所

株式会社 BM エコモ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：堀尾 太一）が出資し、プラント管理システム「BMecomo」を提供するとともに、年間数万トンのバイオマス燃料を供給している「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」が3月16日より商業運転を開始しました。

同発電所は、製造業などの事業者から生産過程で排出された生産副産物を主燃料として発電し、その電力を排出元へふたたび循環させる仕組みです。事業者側や自治体には廃棄物処理負担の低減となり、地域における資源・エネルギー循環の構築に貢献するものです。



パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所

弊社が開発するプラント管理システム「BMecomo」は、プラント（バイオマス発電設備、水力発電設備、太陽光発電設備、ボイラー設備、製紙設備、食品工場生産設備等）から得られるあらゆるデータを収集・解析し、プラントの状態や将来の挙動に関する情報を可視化してフィードバックすることで、稼働率の向上やメンテナンスコストの最適化を実現するシステムです。

同社はまた、KPP グループの既存顧客から排出される木質系廃棄物や食品系の難処理バイオマスを燃料として調達し、本事業に年間数万トン进行供給しています。今まで活用が困難だった食品系副産物などを活用することで、エネルギー自給率の向上、廃棄物の削減、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。



4月24日の竣工式のテープカットの様子



4月24日の竣工式の記念撮影

■ 本件に関連する情報

- ・ [完全 NON-FIT 型木材・製造業生産副産物ハイブリット燃料による脱炭素電源開発事業への参画について](#) (2023年3月31日)
- ・ [子会社の設立に関するお知らせ](#) (2022年3月2日)
- ・ [ビッグデータを活用したバイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」サービス利用契約の締結に関するお知らせ](#) (2021年9月22日)
- ・ [バイオマス発電所運転支援システム「BMecomo」実証運転開始 ～AI・IoTを活用し安定稼働をサポート～](#) (2019年10月1日)
- ・ [バイオマス発電所運転支援システムの開発決定に関するお知らせ](#) (2018年9月14日)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 BM エコモ

TEL: 03-3542-9924